

令和5年2月28日
国土交通省中部地方整備局
岐阜国道事務所

濃飛横断自動車道(堀越峠工区)における
直轄調査結果の送付について

1. 概要

この度、濃飛横断自動車道(堀越峠工区)における直轄調査結果がまとまりましたので、岐阜県に送付したことをお知らせします。

2. 資料

別紙：濃飛横断自動車道(堀越峠工区)に係る直轄調査結果

3. 配布先

中部地方整備局記者クラブ
岐阜県政記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所

副所長 桑原 良輝
計画課長 木村 昭雄

TEL : 058-271-9815

Mail : cbr-gifu-keikaku1@mlit.go.jp

※同様の内容は右記 HP に掲載されています。

岐阜国道事務所 岐阜市茜部本郷1-36-1
HP ぎふこくナビ <https://www.cbr.mlit.go.jp/gifu/>

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

【求められる機能】

求められる機能①

○ダブルネットワークの代替性を補完する東西軸強化

求められる機能②

○山間地域の暮らしを支える信頼性の高い道路の確保

求められる機能③

○リニア効果を広域に波及するためのアクセス強化

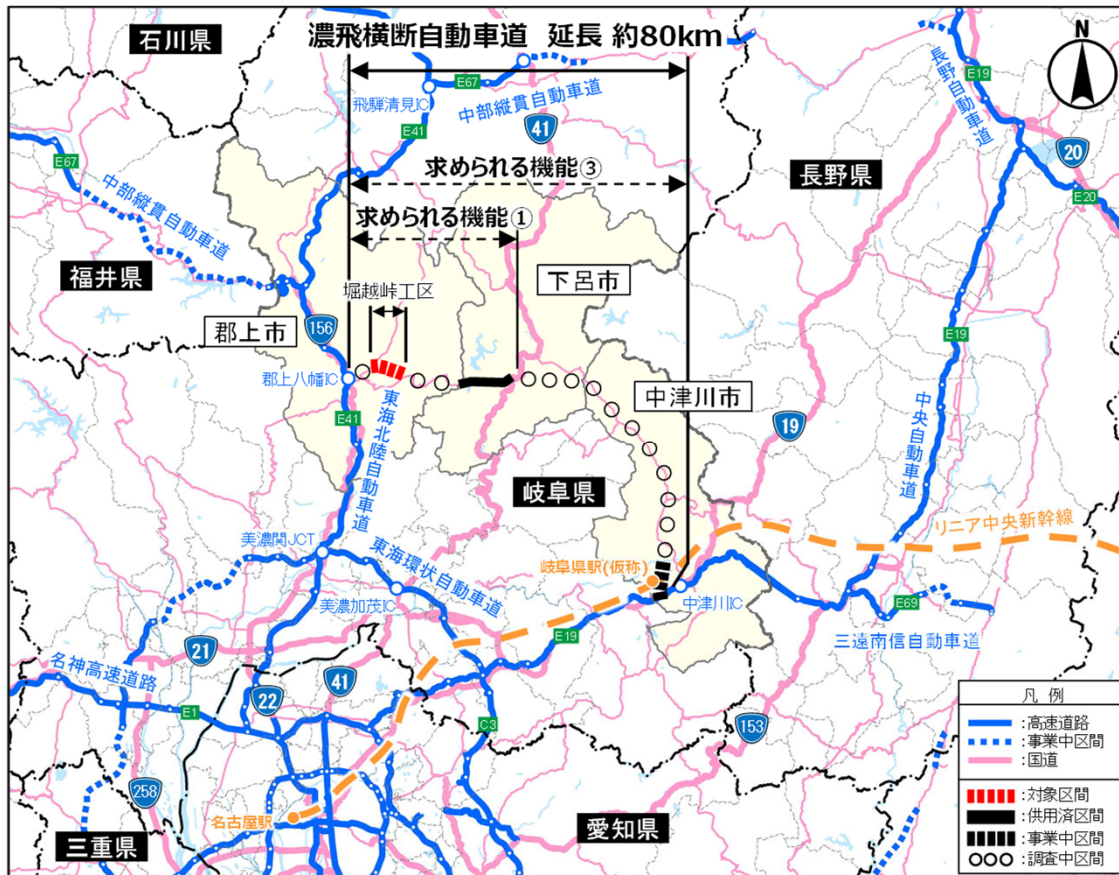
【技術的な課題】

- 濃飛横断自動車道(堀越峠工区)は、地すべり面、断層破碎帯、高い地下水水位および空洞が存在する山地をトンネルで通過する計画
- 地すべり面の滑動や断層破碎帯からの湧水、空洞の通過などが複合的に発生する恐れのある箇所でのトンネル掘削となるため、安定解析や前方探査等の調査計画、複合的なリスクを有する地山の適切な安定対策の選定等が必要である。
- 以上の理由により、高度な技術力を活用することにより事業実施が可能

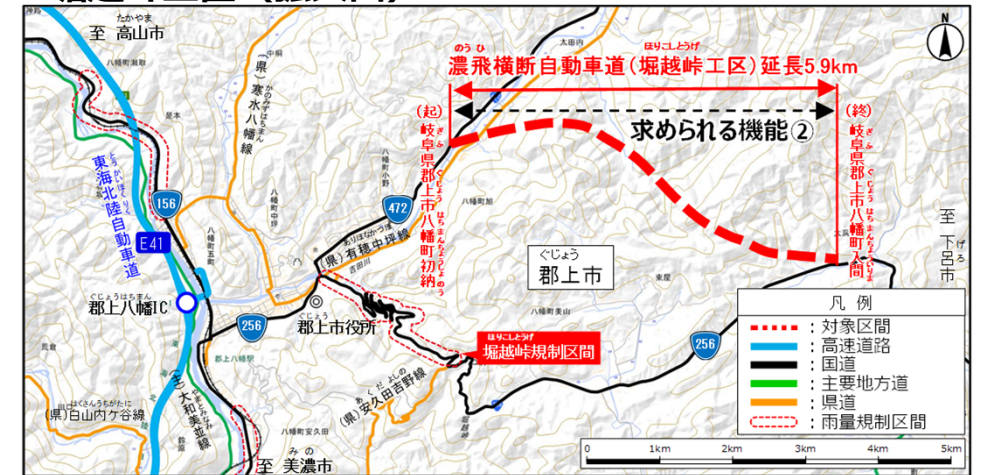
堀越峠の現地状況



■濃飛横断自動車道位置図

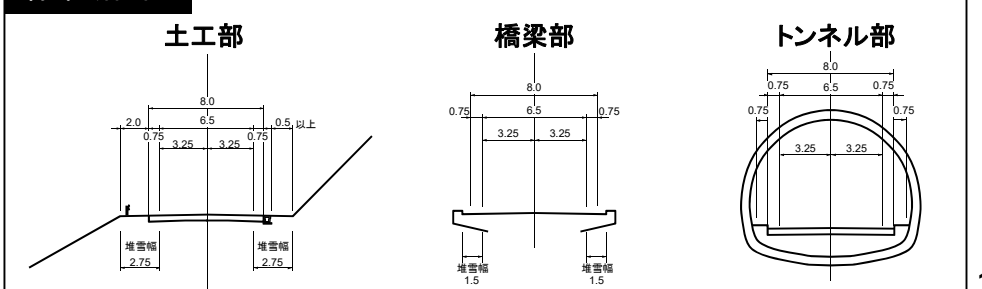


■堀越峠工区(拡大図)



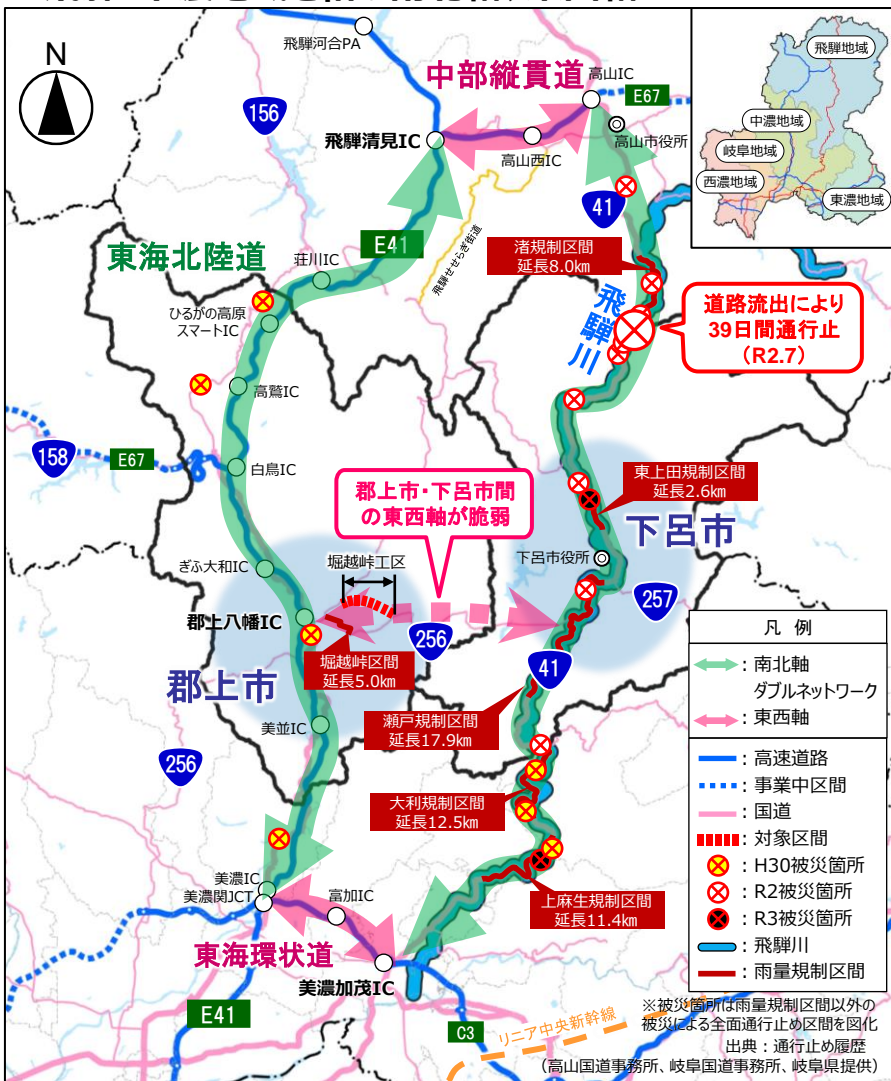
出典：国土地理院地図

標準断面図 単位:m

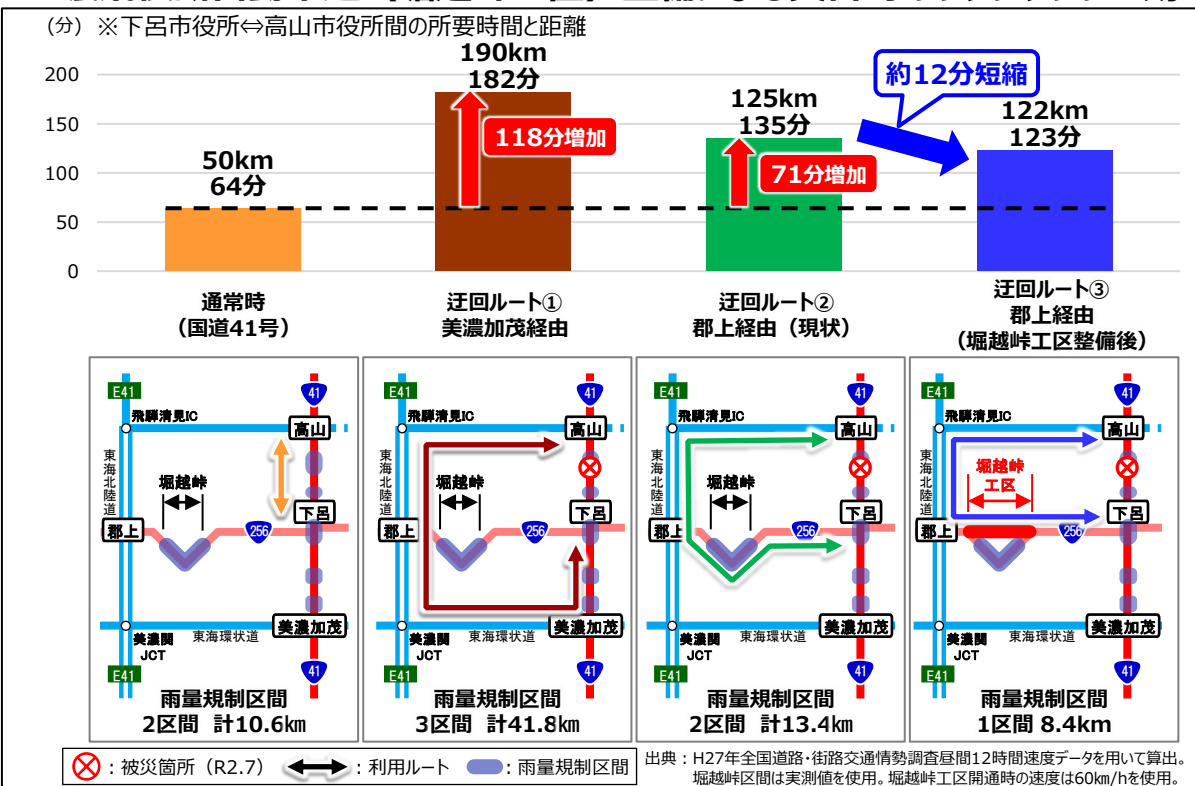


- 飛騨地域と中濃地域を結ぶ南北軸は、東海北陸自動車道と国道41号のダブルネットワークが確保されているが、東西軸が脆弱。
- 山間部を通る国道41号は、飛騨川の並走や雨量規制区間を有する等、災害リスクが高く通行止めが頻繁に発生。
- 濃飛横断自動車道の整備により、南北軸ダブルネットワークの代替性を補完する東西軸を強化する必要がある。

■ 飛騨・中濃地域を結ぶ南北軸、東西軸



■ 濃飛横断自動車道（堀越峠工区）整備による災害時のリダンダンシー効果



■ 広域迂回事例 (令和2年7月豪雨)

国道41号の道路流出により
39日間 全面通行止め



■ 地域の声

下呂市では、高山市に通勤・通学している人が多く、長期にわたる通行止めは大幅な迂回だけでなく、通勤・通学地付近での泊まり込みが必要となるなど、**市民生活の大きな負担**となった。

出典：高山国道事務所令和2年8月14日記者発表資料
出典：ヒアリング結果_下呂市役所 (R4)

- 国道256号堀越峠はつづら折りの険しい山道である為、雨量規制区間、線形不良、積雪によるスタック等、通行リスクが高い路線。
- 郡上市和良地区から郡上市街地への交通は、堀越峠が通行止めの場合、地域が孤立するため、日常生活に支障が発生。
- 濃飛横断自動車道の整備により、堀越峠を回避する信頼性の高い道路を確保し、山間地域の安全安心を確保する必要がある。

■ 堀越峠の通行リスク

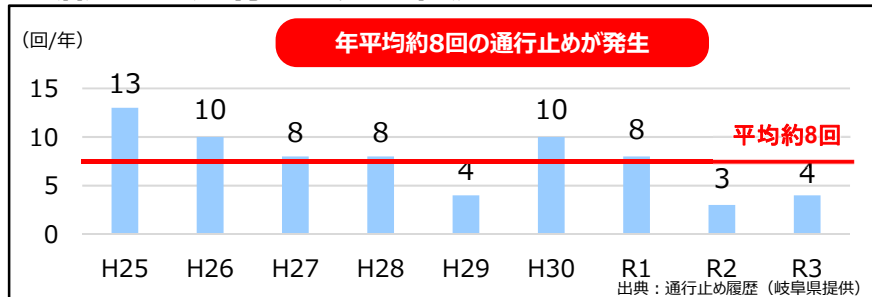


■ 和良地区の孤立状況 (平成30年7月豪雨)



出典：【交通量】H27年全国道路・街路交通情勢調査

■ 堀越峠の通行止め発生状況



■ 地域の声

- ・平成30年7月豪雨の際には、国道256号を始め、周辺の県道等での通行止めが相次ぎ、和良地区では、郡上市街地等への車両の通行が出来なくなり孤立する事態となりました。
- ・また、当地域では豪雨災害のみならず、冬の積雪時にも堀越峠が通行止めとなることがあり、和良地区における安定した移動経路確保が課題となっています。

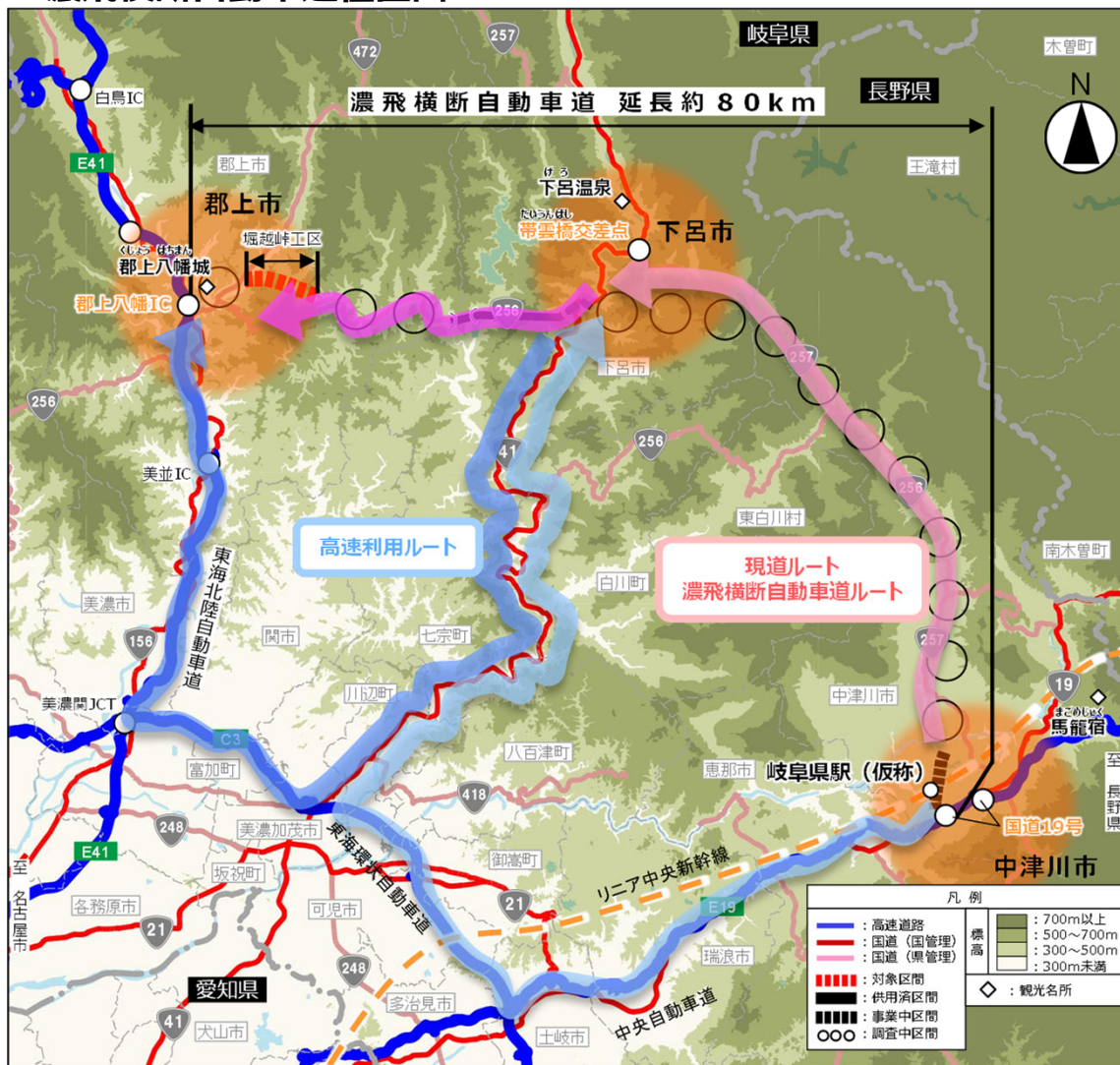


郡上市 和良振興課

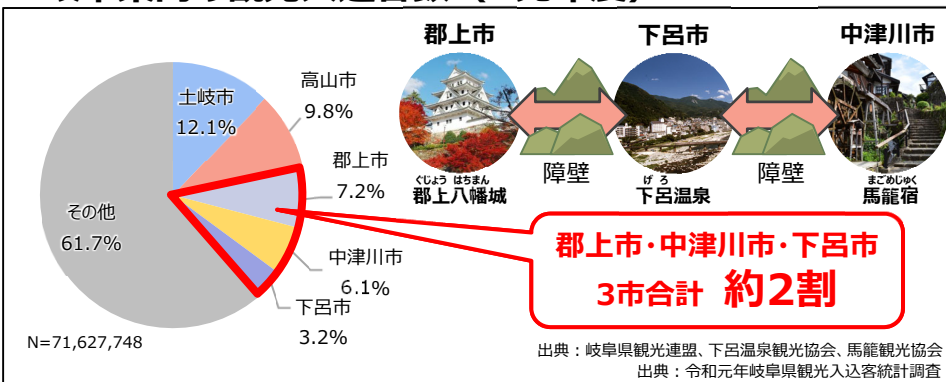
出典：ヒアリング結果 (R4)

- リニア中央新幹線岐阜県駅(仮称)の整備により、リニア効果の波及による岐阜県の観光活性化への期待が高まっている。
- 郡上・下呂・中津川の各市には観光名所があるが、当該地域を結ぶ道路ネットワークが脆弱であり、地域間連携の障壁となっている。
- 濃飛横断自動車道の整備により、リニア効果を広域的に波及するアクセス道路を強化する必要がある。

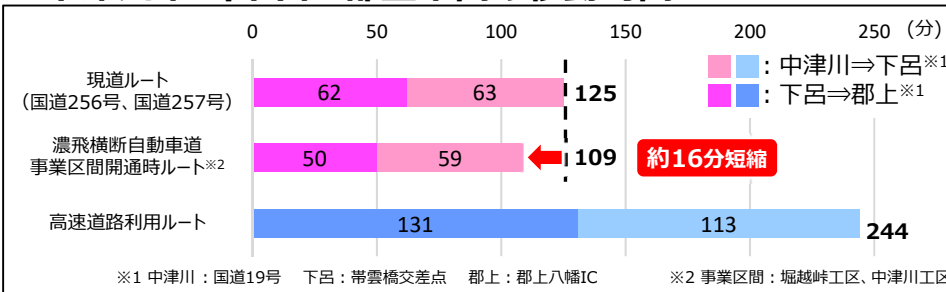
■ 濃飛横断自動車道位置図



■ 岐阜県内の観光入込客数 (R元年度)



■ 中津川市・下呂市・郡上市間の移動時間



■ 地域の声

- ・岐阜県の中濃地域(郡上)と東濃地域(中津川)間は山道であるため、アクセスがよくないという認識があり、周遊コースとして組みづらい。
- ・特に、郡上～下呂の周遊コースはあるものの、堀越峠は幅員が狭く、かつ急勾配であるため、大型バスの通行が困難なことが課題となっている。



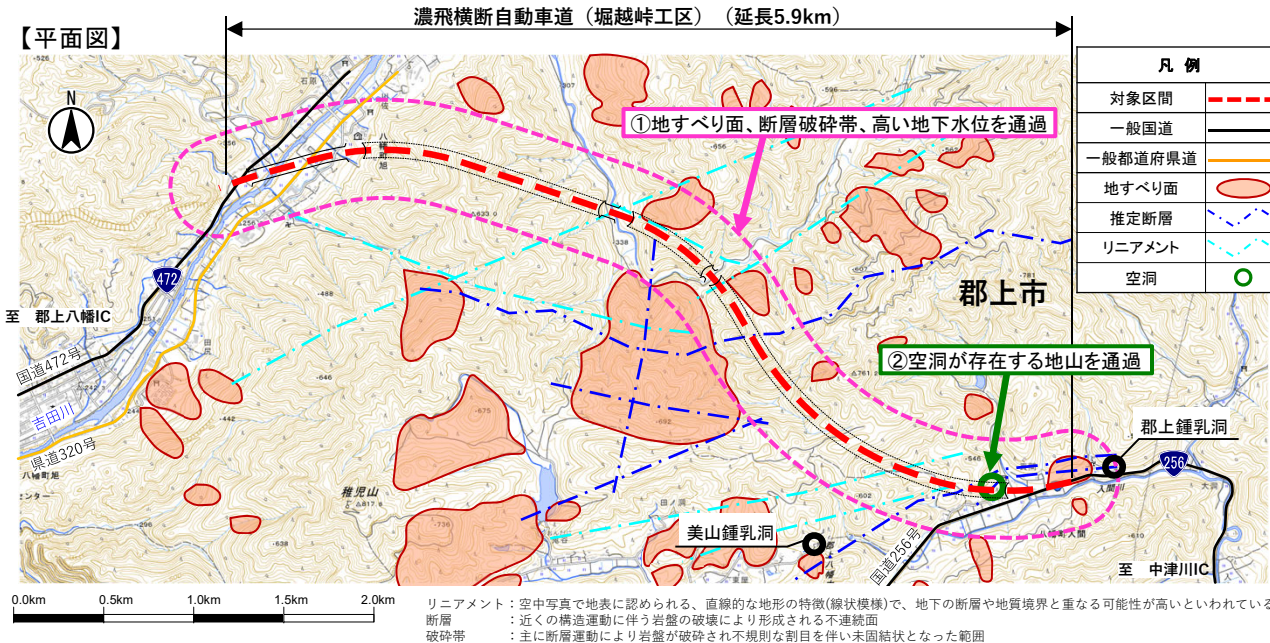
下呂市観光協会

出典：ヒアリング結果 (R4)

- 濃飛横断自動車道(堀越峠工区)は、地すべり面、断層破碎帯、高い地下水位及び空洞が存在する山地をトンネルで通過する計画。
- 地すべり面の滑動や断層破碎帯からの湧水、空洞の通過などが複合的に発生する恐れのある箇所でのトンネル掘削となるため、安定解析や前方探査等の調査計画、複合的なリスクを有する地山の適切な安定対策の選定等が必要である。
- 以上の理由により、高度な技術力を活用することにより事業実施が可能となる。

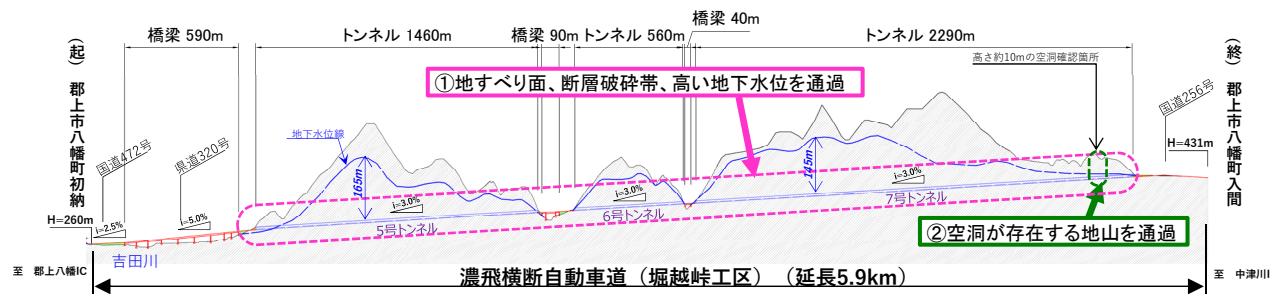
■ 濃飛横断自動車道（堀越峠工区）の技術的課題

【平面図】



リニアメント：空中写真で地表に認められる、直線的な地形の特徴(線状模様)で、地下の断層や地質境界と重なる可能性が高いといわれている
 断層：近くの構造運動に伴う岩盤の破壊により形成される不連続面
 破碎帯：主に断層運動により岩盤が破碎され不規則な割目を伴い未固結状となった範囲

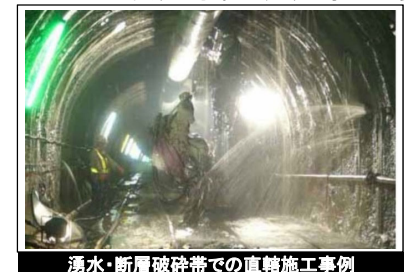
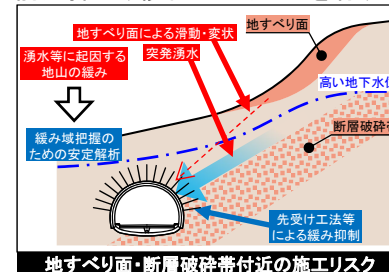
【縦断面図】



■ 高度な技術力を必要とする内容

①地すべり面、断層破碎帯、高い地下水位を通過

- ・地すべり面と断層破碎帯が連なる山地で高い地下水位が確認されている。
 - ・地山の滑動や突発湧水による地山の緩みにより、トンネル覆工の変状や切羽・天端の崩落等のリスクが存在。
- ⇒複雑な地質構造や緩み域把握のため、トンネル施工と並行した安定解析や前方探査、複合的なリスクを有する地山の適切な安定対策の選定等が必要。



②空洞が存在する地山を通過

- ・近隣に鍾乳洞が存在する地山であり、事前の地質調査によりルート上の空洞が確認されている。
 - ・トンネル上部の空洞からの岩塊落下や土砂流出、トンネル施工中の空洞確認等によるリスクが存在。
- ⇒施工時の前方探査や3Dレーザースキャナーによる空洞範囲の確認、空洞部の充填等が必要。

